

# OB会 だより

挑戦シリーズ  
No.34



定年後の人生  
新しい道に挑戦し、輝いている  
仲間はたくさんいる  
その一人 齊藤 幸一さん  
故郷“もがみ”への思いを、毎年の  
年賀状に託しながら、「小さな・  
小さな西東こういち美術展」を  
楽しんでいる。

1978 年、数人で初めて開いたグループ展。私の作品は年賀状数点。「こんな年賀状もらえたらうれしい！」の声に押され 2002 年「小さな・小さな一枚の西東こういち美術展」としてスタート。今年で 40 年。「いつも楽しみにしています」

「一枚のハガキに感動させられます」「月明かりの晩、いいですねえ」などなど。うれしい言葉を励みに、毎年 150 枚の年賀状 一枚一枚に心をこめて書いています。

(齊藤さんは埼玉協同病院・食養科に調理師として勤務しました)

## 埼玉民医連退職者の会 第28回総会

2月11日



## 58名の仲間が なつかしく楽しいひと時を！

第28回総会は医療生協さいたま本部会議室を会場に、58名の仲間が参加し行われました。92歳を迎えた寺島萬里子先生、89歳の今なお現役の会計監査としてOB会を支えてくれる権田圭助さん、遠いところからは、宮城・蔵王の麓から駆けつけた浦川恵子さん、山形文字先生は今年も茨城から車で、武内優さんは秩父から電車を乗り継ぎ3時間かけて……。

初めての参加は佐藤優子さん、瀧沢一美さん、田中美代子さん、吉原恵美子さん、富樫李花さんです。みなさんそれぞれが、埼玉民医連の歴史を作り、語り継いでいく仲間達であり、OB会のエネルギーがあふれています。

伊藤幸夫さんの開会挨拶、議長に海老塚利明さん・前田文代さん、書記に

西村米子さんを選出しました。

初めにこの間に亡くなられた肥田舜太郎先生、萩原渺さんに黙祷を捧げました。富田会長は挨拶で、昨年の総会では肥田舜太郎先生の元気な姿がありましたが、1ヶ月後に皆さんから惜しまれながら亡くなられたこと、肥田先生の意志を受け継ぐためにも「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国3000万署名」を積極的に取り組みましようと呼びかけました。

来賓として、高橋正巳埼玉民医連事務局長から「民医連の新しい綱領ができて9年、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指している。目標に向かって精進したい。ともに頑張りましよう」と挨拶をいただきました。民医連退職者の会全国連絡会のメッセージ紹介の後、喜寿を迎えた折茂スミイさん、高橋喜長さん、福田紀子さんにお祝いが送られました。

第一号議案 2017年度活動のまとめ、18年度方針を松倉事務局長、第2号議案：17年度決算報告、18年度予算を小嶋幹事、会計監査報告を権田圭助会計監査、第3号議案：18年度役員を富田会長が提案し討議に入りました。



### 初めての参加です。よろしく！



富樫李花さん



佐藤優子さん



田中見代子さん



瀧沢一美さん



吉原恵美子さん

**討論**では、予備費が増えていることから、役員の自己犠牲が多すぎないか?交通費や弁当代など考える必要はないか等の意見が出され今後検討することになりました。新旧役員の挨拶では、権田さんから「長く会計監査を担当してきたが、担当者がきちんとしているので助かりました」また民医連の「いつでも元気」に掲載された権田さんのインタビュー記事が皆さんに配布されました。後任の若杉博さんは「何かお役にたちたいと思っていました」、新幹事の岡村和夫さんは「喜んでお引き受けします」。鈴木智子さんは「多くの人に参加するOB会にしたい」など語られ、大きな拍手ですべての議案が採択されました。



石丸乾二さんの閉会挨拶で1部を終了しました。

Ⅱ部が始まるまでの間に、参加者そろっての記念撮影、「私の作品展」の観賞です。初めに武内優さんの「野口雨情の足跡を訪ねて・サハリン紀行」続いて金子仁志さんの「OB会 2017年活動」と「ホームページ」の紹介が、きれいな映像が大きく映し出されました。続いて作品の紹介・出展者からの一言が小川祥江さんの司会で進められました。絵画、写真、短歌、植物の種、ネクタイのリメイクやコート、ブラウスや人気のパンツなど今年も力作が揃いました。小山さん手作りのキャロット・チーズケーキは全員に届けられおいしくいただきました。

(「私の作品展一覧」は同封の別紙をご覧ください)



**懇親交流会**では皆さんから一言をいただきました。一部ですが紹介します。

\*中村雅子さん：戦中派です。  
子や孫のために  
3000万署名に



取り組んでいます。まだやることがあり、必要とされていると思っています。

OB会の旅行にも参加したいですが健康面で不安があり行けずにいます。

\*佐藤優子さん：初めての参加です。草加市民サロンで週3日働いています。女性が多いですが、家でこもっている男性も参加できるようなサロンにしたいと思っています。

\*川合省さん：OB会沖縄旅行になんとしても行きたかったが、



カミさんが病気でいけなかった。今はうさく元気です。今年こそ旅行に行きたい。

\*山形文子さん：毎年参加です。協同病院の周りを見たが大きくなったと感心した。65歳になり、介護保険証や年金のことも考える年になった。来年も参加します。



\*清水禮二さん：私は今から40年前医学部に入り直しました。埼玉民医連で学んだことを生かして仕事をしています。

\*川内正子さん：比企郡嵐山町の梅津辰也先生のところ「みんなの診療所」で働いています。



\*大久保直子さん：総会には毎年参加しています。ジムに通い筋トレに励んでいます。

\*宮崎裕子さん：OB会の沖縄旅行でショックを受けました。新たな自分探しに行きたいです。



\*寺島萬里子さん：92歳になります。大井医院が最初の勤務先でしたが、医師免許がこないうちから仕事でした。一生の仕事だと思った写真は今はしていませんが、おだやかに暮らしています。

\*巻田幸子さん：退職してから20年になります。医療生協の支部ニュースを作ったり、配布網の整理など忙しいです。後継者がほしいです。

\*佐藤テル子さん：楽しい民謡を続けています。OB会の旅行を楽しみにしています。



\*吉原恵美子さん：大井医院を退職した後、労働組合で働きました。その後、浦診のデイケアでボランティアをしています。

\*橋本邦弘さん：退職後、地域の人達と一緒に活動しています。「地域に若者がきた」と言われました。



\*大出徳子さん：ずっと上尾に住んでいます。新しい歌を覚え、歌うことで脳トレになります。

\*広瀬久子さん：料理が苦手ですが、一汁一菜で具たくさん味噌汁を毎日飲んでいます。



\*田中見代子さん：初めての参加です。退職後、知り合いのデイサービスで働いています。若年性認知症の勉強をしたいと思います。



\*吉澤法子さん：以前OB会だよりの表紙に載せてもらったフラダンスやコーラスを今も楽しんでいます。

\*小山千里さん：西協同病院OB会を20数名の参加でやりました。

\*伊藤英子さん：その時に、県のOB会のお誘いもしました。



\*折茂スミイさん：喜寿のお祝いありがとうございました。

私のひとことを挟んで、渋谷菊雄さんと仲間の協力でギター演奏による「うたごえ」を楽しみました。「手と手と手と」「たんぽぽ」「戦争を知らない子どもたち」等、思い出しながら歌ったその声は、会場に響き渡りました。「来年もまた」の声が出るなど楽しいひと時でした。



## 喜寿のお祝

ありがとう

## 総会 ひとことメッセージ (追加)

### ★野村清子

何とか元気に過ごしております。お返事を  
すでに出したのと思っていました。  
遅くなり申し訳ありませんでした。

### ★前田幸子 (藤沢市)

ヘルパーとして、いまだ頑張っています。

### ★佐藤優子

退職後、医療生協草加支部が草加市の総合事業「住民主体の多様なサービスB」を受託した事業に週3日参加しています。  
組合員や地域住民のパワーをいただきながら楽しく活動しています。

### ★清水恵子

本部に移り、医療や医療生協を超えた素晴らしい実践や担い手の方々に接し感動しています。医療生協さいたまを少し客観的に見る機会に恵まれ、今の位置から「生協の価値」「社会貢献」も少しずつ考えていけたらなあ・・・と思います。

前略

雨とともに、春の訪れもやってくるのでしょうか。  
今回の総会に出席できなく残念に思っております。  
本日はご丁寧な御祝い金を頂戴しました。誠にありがとうございました。  
うございました。

体調も徐々に戻りまして、春には元気になれることと  
思います。皆様のご苦勞に感謝いたしております。  
本当にありがとうございます。

さいたま市 福田紀子



幸手市・権現堂 小田政満



近くの神社 庭の桜と愛犬 小川町 千野章夫



幸手市 権現堂の桜と菜の花 石丸乾二



熊谷・荒川土手桜堤 瀬川則男



湖面に映る桜・さきたま古墳 岡村和夫



秩父・羊山公園 秩父札所音楽寺 山本康男



愛媛県 松山神社 和田美津保



## 私の近況

### ◆◆ 東田伸夫

「OB会だより」ありがとうございます。さまざまな人生を感じさせられ、励まされます。自分も定年後、戦争法反対からミドルズ鳩ヶ谷を地域に作り、「憲法カフェ」や署名行動などしています。また原発県民投票から自然エネルギーを考える市民の会を立ち上げたり、川口社保協を取り組む中、川口市国保運営協議会委員（元専務の大野さんが1年先輩で、いろいろ教えてもらいました）など社会に参加しています。定年直後には、第九合唱にも挑戦。66歳からは、チェロにも挑戦して2年になります。別の世界でのつながりもまた楽しいです。

### ◆◆ 浦川恵子 ～2018年1月～鳥たちの訪れ～



早朝のヤマガラ

餌台から飛び立つヤマガラ

バードケーキ上のシジュウガラ

冬の楽しみは、庭に訪れる鳥たち。山に餌がなくなる頃、ひまわりの種が登場。早朝、カーテン越しに鳥の音が聞こえ、人の姿がない事に安心したヤマガラが、ひまわりの種をコンコンと割る音が響く。臆病なシジュウガラは、素早く種をくわえると、離れた木の枝でゆっくり味わっている。鳥も、命がけである。

今年は、夫作成のバードケーキが、餌の仲間入り。小麦粉・砂糖・ラードを混ぜて、松ぼっくりに塗りつけるバードケーキは、脂身を好むアカゲラを呼びたいため。おかげで、赤い色をまとう美しいアカゲラの姿を見ることが出来たが写真は撮れず、残念。

### ◆◆ 小嶋美智子

総会で小山さんからのプレゼント“ニンジンケーキ” 美味しかった！シナモンがしっかりきいて、ナッツの歯ざわりとしっとり感、ごちそうさまでした。



## ◆◆ 金井東望子

長年通っている美容院の勧めで一昨年半ばから髪染めをやめた。

昨年6月、隠岐の島に娘と二人で行き観光協会のバスツアーに参加した。案内人は定年退職後観光ガイドの資格を得たとの事、玉若酢命神社で「お母さんこの階段、楽でしたでしょう」と言う。確かに馬が駆け上がる階段なので段差は低い。壇鏡の滝は車道から10分強歩く。またしても案内人「お母さんここから歩きますが大丈夫ですか？」と言う。私はムツときて「白髪ですけど、まだ71ですから」と言ってやった。そちらも私よりそんなに年が違わないだろうにとの思いでバスに戻ると私より3歳下だった。

夏休みに来た娘は「お母さん髪染めた方がよいのでは？」と。

白髪の話はもう一つ、秋になり見沼区に年金者組合が共同墓地を造る話があり、知人が場所を見たいというので夫と3人で出かけた。知人は66歳の黒髪の女性、こちらは夫婦とも白髪。墓地には石屋がいて案内してくれたが、共同ではなく個人の墓地を買ってほしいので案内しながら個人墓地を説明するが話の内容が知人と夫が夫婦で私とその母親のようで・・・という私は90か？と知人と話していると石屋さん大慌て「失礼しました。お詫びにお茶を・・・」顔を見て判断してね、と言ったが、帰宅後つくづく鏡を見て90かーと思いながら気を取り直して、私は背が低いから上からは白髪しか見えなかったんだらうと思うようにした。

白髪にしたら遊んであげないと言っていた友人もまだ遊んでくれるし・・・

## ◆◆ 伊藤幸夫

これなんでしょう。わかりますか？

前日洗車したばかりのわが愛車。

そうです！ スギ花粉です！

都会の皆さん、スミマセン。(3月10日朝)



## ◆◆ 山本靖男

2月末、医療生協の支部レクリエーションで、神奈川県松田町の「河津桜まつり」に36名



で行ってきました。見事な桜の下で「身も心もリフレッシュ」、これからの支部活動が楽しみです。



## 川越中央診療所で 看護師の基本を学びました

千野 久子さん



千野久子さん  
1969年看護婦を希望して19歳で川越中央診療所に入職、51歳で退職  
現在、行田診のデイケアで学んだリハビリ体操をい  
かしながら地域のいきいきサロンで活躍中。

私は今年で68歳になりました。

19歳から51歳までの32年間、埼玉民医連に勤務しました。

最初の職場は川越中央診療所です。近いうちに閉鎖するということ  
は知らずに入職しました。貧困の患者さんが多く、病気だけではなく  
生活も見なければいけない、患者さんがどのような生活をしているのか  
知らなくてはいけない等、先輩看護師から教えてもらいました。

ここで学んだことが私の看護師の仕事の基本となりました。川越が閉鎖  
になり富岡診療所へ、2年後結婚して小川町に住むことになり熊谷小児  
診療所に異動させてもらいました。熊谷小児病院、熊谷生協病院と名前  
は変わりましたが25年間勤務しました。熊谷小児病院では脳神経外来  
を担当。障害のある子どもが多く親の悩みはたくさんありました。子  
どもの入学をめぐっても特殊学級がよいのか、養護学校がよいのかなど悩  
みは尽きなかったようです。担当の吉住先生は患者さんや親たちの話をよく聞いていましたので、  
一人一人の診察時間は長くなり、そのため待ち時間も長く、予約制にしたりしました。親たちの  
共通の悩みを何とかしたいと考え、親の交流の場を作ろうと初めて森林公園に行きました。その  
時は小林茂雄先生も一緒に行かれました。その後学習会などもおこない、障害児を持つ親の会「麦  
の会」を立ち上げ、ハイキングやクリスマス会、海水浴にも取り組みました。海水浴は親たちが  
養護学校の先生を誘ってくれたり、病院から医師にも参加してもらったりして10年以上も続き  
ました。私は「麦の会」で親や子どもたちからたくさんのことを教えてもらいました。

47歳の時、行田協立診療所へ異動。行田はデイケアを活発に取り組んでいました。ボランテ  
ィア活動も活発で、戦争体験をはじめたくさん話を聞いたり、いろいろお世話になりました。  
その一人、Oさんは、戦争に行った時上官から「前へ進め」と言われたが、このまま進んだら  
自分の部下が全員死んでしまうと思い戻ったら、上官の命令に従わなかったからと留置場に入れ  
られたとのこと。あの時代にすごいなあーと思いました。51歳で退職しました。

今は病気の療養をしながら、家事、畑、月1回地域のいきいきサロンで皆さんと一緒にリハビ  
リ体操をしています。

埼玉民医連に勤務した32年間は忙しい毎日でしたが、私の生き方をはじめたくさん  
の学び、充実していました。



No.2

石原 囿美

震災後何度目かの福島を訪問。改めて現地ならではのことも幾つも体験した。前号の飯館村長・菅野典雄さんに続いて今号は、福島商工会議所会頭の渡辺博美さん（私の2年後輩）の話を紹介します。

### 福島商工会議所会頭 渡辺博美さん 社員・役員の気持ちと足並みをそろえて

◇東日本大震災で、社員23人が犠牲になりました。高一の息子を残して一家全滅という家庭もあります。事業も相双地域を中心に市場も施設も壊滅的打撃を受け、どう再建していくか見通せませんでした。そんななかで、一番困った方が、遺族のご家庭とともに「ヤクルトレディ」の人たちです。仕事ができないのですから、収入がまったく途絶えるのですから。これらの人たちを、「切る」わけにはいきません。社長裁断で、「レディ」の人たちの3カ月分の「給与」を全額支払い、4、5、6月の「給与」を100%を保障することを決め、そこから先は、そのときの状況をみて協議しよう、と「レディ」さんの了解を得ました。給与分は保障、（ボーナスは出せなかった）その費用2億円を財務担当役員に、「自分に現金で預けてくれ」と指示。事故後の社員、役員の気持ちと足並みをそろえることができました。事業業績は全国からのグループの支援、お客様のお力添えをいただいたことも力になり、1年で、旧に復することができました。

寺島先生はもちろん、所長の内山先生も参加された川診OB会は15名参加。内山先生は、川診建設に向け医療構想を検討しているので、OBにも知恵をかしてほしいと話された。懐かしい人たちとの交流、退職後も仕事や趣味に頑張っている様子に刺激を受けた。私達の育った川診の未来も気にかかる。やはり民医連職員なんだなーと感じた。私も医療生協の手伝いと、大好きな歌は最後まで続けたいと思っている。次回は一泊旅行の予定です。

大出徳子

### 久しぶりの川診OB会

3月8日：藤市





**民医連退職者の会全国連絡会  
第14回総会のご案内**



**日時：2018年5月15日～16日**

**会場：東京「お茶の水ホテル・ジュラク」**

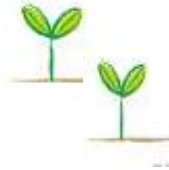
**JR 中央線 お茶の水駅徒歩2分**

**★参加希望者は役員まで連絡ください★**

ホームページ ご覧ください

埼玉民医連退職者の会

検索



第28回総会 参加者記念撮影



第28回総会が終わりました。今年も58名ものたくさんの仲間が参加。うれしいことです。その一方、「あの人の姿が見えない」「この人は？」・・・とても寂しいです。

埼玉民医連を創り、OB会をつくってこられた第一世代の皆さん、いつまでもお元気でと強く感じた今年の総会。そんな思いから外出が困難な会員も、療養中の会員も、みんなでお花見会を！例年より早く咲いた見事な桜を、OB会だよりを通して眺めていただけましたでしょうか？紙面の数倍もの写真が寄せられました。会員の協力に感謝しながら、OB会を大切に引き継いでいきたいと、あらためて誓った2018年の春です。(よ)

埼玉民医連退職者の会 〒333-1111 川口市木曾呂 1347 老健みぬま内